

交野市教委ニュース

第111号（令和元年6月5日）

交野市 学力充実支援事業（横須賀市小・中学校視察研修）について

学力充実支援事業の取組みの一つとして、5月20日・21日の日程で、外国語教育先進地域（神奈川県横須賀市）への小・中学校視察研修を行いました。

市内小・中学校の外国語（英語）教育担当教員の代表が参加し、自校及び学園内の外国語教育における授業改善推進のための具体的方策について、先進事例に触れながら学ぶことができました。

小中一貫で取組む外国語教育

視察に訪れた横須賀市立常葉中学校区（常葉中学校・田戸小学校・諏訪小学校）は、平成27年度からの3年間で文部科学省の「英語教育強化地域拠点事業」を受けて、小中一貫で外国語教育の授業づくりに取り組んでおり、小中間での先生の交流も盛んです。

校内には、日常生活の中でコミュニケーションの中で使うフレーズや学校生活に関係のある単語などがたくさん掲示されており、常に英語に接することができるように工夫されていました。

横須賀市では、「Can Do リスト」を作成し、小・中・高校の12年間で付けさせたい力を明確にして、先生達で共有しています。

小学校、中学校ともに授業で大切にされていたのは、アイコンタクトやジェスチャー、聞き取りやすさなど、相手に自分の伝えたいことを正確に伝えるための方法です。そして、授業参観後の研究協議会で横須賀市の先生方が共通して話されていたのは、「外国語（英語）は自分の気持ちを伝えるためのコミュニケーションツール」であるということでした。

今回の視察で学んだことを活かし、交野市の外国語教育を推進していきます。



本視察研修を受け、今後市内各校において参加者による伝達研修等が行われます。その中で、各校が実情に照らし合わせた上で、学力向上の視点で取り入れられる要素を一つでも多く抽出し、「すぐに実行できること」「段階的・計画的に推進すること」など、研修から得た内容をきちんと精査した上で議論を深めてまいります。

市教委としても、各校からの報告を集約・分析し、再度全校で共有できる場を設定するとともに、教員の学びの場をより一層充実させるよう努めてまいります。